

子どもの

「こころ」一言コンクール

ファミリーリング（父親であることを楽しむ生き方）をすすめるため、子どもから言われて、あるいはお父さんから言われて、うれしかった言葉や感動した言葉、ちよっとショックだった言葉など、心に残っている子どもからの一言、お父さんからの一言を募集しました。コンクールの結果からご紹介いたします。

最優秀賞

**このおとうさんは
すぐおもしろいおと
うさんです！**

大貫謙司さん

子どもからの一言部門

【一言のエンターテインメント】
幼稚園に迎えに行った時に友達の前で娘が言ったことばです。娘にとつて最高の遊び相手ていたい私にとつて本当につれぬいぬい遊びで、いつまでも娘にとつて、おもいっきり遊んであげたいと思つています。

最優秀賞

**俺はお前が大好きだ。
親バカ？
親バカって親しかなれ
ないんだぞ。**

吉田茂興さん

父親からの一言部門

【一言のエンターテインメント】
私が反抗期だったころ、父に迷惑をかけたなご反省していたときに言われた言葉です。何となく忘れられない一言です。

親学 コラム

子育てと 地域活動 の 親密な関係

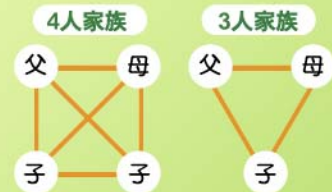
子育ては家庭内で親が行うもの、地域活動（保護者会活動含む。）は大人のつきあい。子育てと地域活動は、ちょっと関係なさそうな気がしますよね。

でも、実は地域活動って、子どもを育てていく上で、必要不可欠なんです。

「子育て」の目的は、子どもが将来大人になったときに、きちんと自立して生きていけるよう、教えて訓練していくことです。そのために、表現力や理解力、基本的な知識、体力など様々なことを子どもに身に付けさせていきますが、核家族世帯が多くなった今、家庭内だけの人間関係では、社会の中で生きていくために必要な人間関係を構築する能力やコミュニケーション能力、社会性を、十分に訓練することができなくなっているといわれています。例えば、お父さん、お母さん、子ども2人の4人家族だと、人間関係=人と人を結ぶ線は6本です。3人家族だと3本しかありません。昔の家族形態とは大きく異なります。

これらの能力は、見たり読んだりする学習では身に付きません。経験することが必要なのですが、その入口が、お父さんお母さんが地域の方々とあいさつしたり、地域（PTA）行事の中で活動したりしている姿なのです。次のステップは、子ども自身が地域行事の中で活動して、異なる年齢の人々とも接する経験です。

今の時代の子育てには、お父さんお母さんの地域活動が必要になっているようです。



「親学コラム」では、子どもとの関わり方など家庭教育に関する疑問にお答えします。ぜひ、ご質問をお寄せください。



プレゼント

小さなお子さんをおもちのお父さん、お母さんに、子育てに役立つ情報をお届けする親学情報誌『KODOMO LOOK』の次回のテーマは、「子育てを楽しもう」です。

『KODOMO LOOK』の感想やご意見、今後取り上げでほしいテーマをお寄せください。

お送りいただいた方の中から、**宇都宮美術館の企画展の招待券を20組40名の方にプレゼント**します。

住所、氏名、電話番号、お子さんの年齢をご記入の上、はがき・FAX・Eメールで**平成21年3月19日(木)**までに生涯学習課までお送りください。当選の発表は、招待券の発送をもってかえさせていただきます。

※お送りいただいた内容は、本情報誌への掲載及び優待券の発送のみに利用させていただきます。

宇都宮美術館には、シャガールやマグリットなどの20世紀を中心とした美術や、デザイン作品を展示しています。宇都宮市在住の高校生以下のお子さんは無料で観覧できます。美術館前の文化の森公園には、広い原っぱがあり、自然の中で思いっきり遊ぶことができます。ご家族どうぞ。

うつのみや親学情報誌

KODOMO LOOK Vol.4

発行：平成21年1月

〈問合せ先〉宇都宮市教育委員会生涯学習課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL(028)632-2674 FAX(028)632-2675

URL <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp>

※この情報誌は、限りある地球の資源保全のため再生紙を使用しています。